

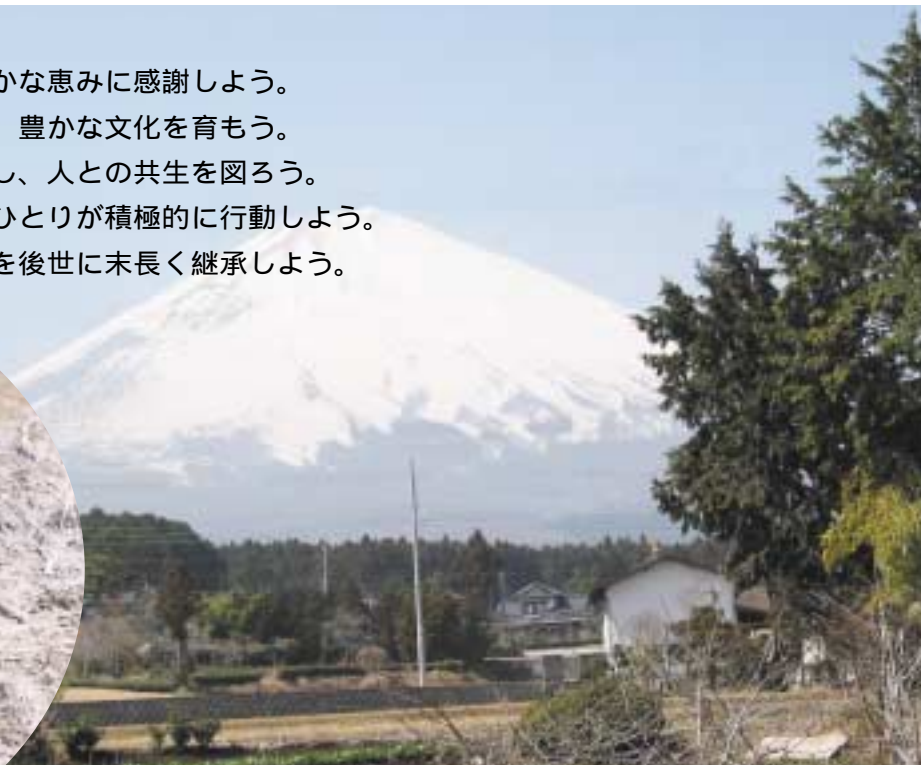


# ふじさんネットワーク

VOL.8

## 富士山憲章 <行動規範>

- 1.富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1.富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1.富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1.富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1.富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。



ふじさんネットワーク  
環境教育  
特集



～富士山をテーマにした環境教育へのアプローチ～

環境教育部会事務局：富士山ナショナル・トラスト



環境教育部会

富士山ナショナル・トラスト  
事務局長 / 花田文夫氏

日本人は、「森の民。」だと言  
われています。「森の民。」と  
しての心を育てることこそ環  
境教育の基本だと思います。

環境教育とは？

環境教育とは、「人間と環境  
とのかかわりについて理解と  
認識を深め、責任ある行動が  
とれるよう一人一人の学習を  
推進していこう」とするもの  
です。

目的

あらゆる行動において「自ら  
進んで環境を壊さないよう気  
づかう」という心構えを養う  
こと。すなわち、環境倫理の  
確立です。

方法

まず、自然に触れ、その自然  
を理解すること。教室での講  
義や実験だけでなく、屋外で  
実際に体験するものとして、  
自然とふれあう森林体験・農  
業体験・自然観察、その他、  
工場見学などすべてを含んで  
考えていくことが大切です。

アンケート調査の実施

富士山をテーマとした効果的な環境教育を実施するための基礎資料としてアンケート調査を実施しました。ふじさんネットワーク加盟団体（137団体）は郵送で、学校は、四市一町（富士市・富士宮市・御殿場市・裾野市・小山町）すべての小・中学校107学校に対して、教育委員会を通じてお願いしました。高校は、ふじさんネットワークに加盟している8校に対して行いました。

実施時期：2002年1月～2月まで

回収状況：244件依頼し、95件回収

環境教育活動  
静岡県立

富士宮西高等学校

富士山の麓の高校として、富士山に関する活動は歴史  
研究部やワンダーフォーゲル部などが行っていますが、  
平成13年度は県の「総合的な学習の時間」研究指導校  
となったことから、総合学習の一つのテーマに「富士  
山研究」をあげ、1年生9クラスで実施しました。

ねらい

富士山の麓で育った者として、  
郷土のシンボルの富士山が多  
様であることを知り、今も、  
多くの恩恵と厳しさを持ち合  
わせる存在であることに気づ  
く。それは、富士山の「体験」  
を通じ、地球学的、民族学的、  
自然として存在する富士山に  
興味をもち、語り、誇れる人  
となるきっかけを与えること。

研究スケジュール

- 1.基礎学習（個人）
- 2.班別学習  
地形・地質班  
民族班  
気象・自然班
- 3.講義「富士山の砂防について」
- 4.体験学習  
大沢扇状地見学  
風穴見学  
湧水地見学
- 5.研究発表

感想と課題

各テーマ別に、学年全体をほぼ均等に生徒数  
を配分しなければならないところがあった。  
そのため、生徒によっては、あまり関心のな  
いテーマに回らざるを得ない、という問題が  
あった。

富士山研究における現地見学は、場所によ  
っては教員が直接説明しなければならないと  
ころがある。今後専門的知識を持った教員が担  
当にいない場合には、事前勉強が大変となっ  
てしまうのではないかとされる。

大沢扇状地の現地見学においては、砂防事務  
所の方に全面的に（マイクロバスや現地での  
説明などで）お世話になった。今後も今年よ  
うに全面協力をお願いできるか、心配になる。  
中学での「富士山学習」や富士砂防工事事務  
所で行う、総合的な学習の「富士山研究」の  
学習する内容が、重複しないように、また、  
学問的要素を入れた高校のカリキュラムに  
する必要があるかもしれない。小学校、  
中学校、高校で教えるカリキュラムを  
整理し、地域学習として発展させる  
ことができれば好ましいし、その  
ように発展する可能性がこの「富  
士山研究」にはある。



大沢扇状地調査場所見学



大沢植木再生紙ポット栽培地見学

## 3

## アンケート調査の中間報告 一部抜粋

## 環境教育への期待

環境教育は、すでに、その必要性や、やるかやらないか、どうするかの問題ではなく、その質（内容や方法など）と量（実施団体や参加者の数など）の充実をどうはかるか、そのための体制づくりが課題となっている。

## 環境教育と提供する側の視点

環境教育を実施したいと思っている人の心情は、学校や各団体とのつながりがいいこと。従って、その気があっても依頼されない。うまく結びつきの方法はないものだろうか。頼まれればいくらでも努力するのだが。しかし、ボランティアとは言われても、費用はかかる。それなりの負担をしてほしい。それに事故が起こったときの責任問題が心配。ということだろうか。

## 環境教育を受ける側の視点

この質問に対して、学校側が一番問題にしたのが、事故が起こった場合の対策で、体験型プログラムの実施への要求は強いが、事故が怖いと言うことで、今一歩踏み出せない

いでいるようだ。次が、指導者がいないと、予算がない、である。指導者の問題は、適切な指導者を知らない、と言う問題と、体験型プログラムは、自分が体験したこともないのに、子供たちに責任を持って指導できるであろうか、という教師側の不安の反映でもあろう。それは、指導マニュアルや教材がない、どこに頼めば講師の斡旋をしてもらえるのかわからない、ということにも反映されていると考える。予算は、外部の講師を依頼するには謝礼が必要だ。その十分な裏づけがないということであろう。

## 環境教育を推進する仕組みづくり

相談窓口設置への希望は、大きいものがある。問題は、その規模と水準である。どの程度の窓口をイメージするかによって、意見はさまざまに変わってくる。総合的、体系的に構想するのか、ふじさんネットワークの実力で、とりあえず、実行可能なところから取り組むのか、意見は、わかるところだろう。ただ、完璧を求めるあまり、結局なにもできなかったということにならないようにはしたいものである。

## 環境教育活動

富士自然観察の会  
—富士市—

富士自然観察の会は、観察会を年間12回計画し、自然観察の楽しみや環境調査活動・自然学習会を行っています。また、未来を担う子供たちのために富士市内の「こどもエコクラブ」への支援活動を続けています。

## 浮島ヶ原の自然環境調査

子供たちの興味の持続できる生き物調査活動をしていく。具体的には「生物の多様性」「絶滅危惧種クロメダカの生育状況」に絞って調査活動を行い、浮島ヶ原の環境について考えることとした。

## 「原田湧水クラブ」

活動日/平成13年9月 8日 参加者：親子80人

## 「浮島エコクラブ」

活動日/平成13年9月22日 参加者：子供30人

ゴミがたくさん落ちていて自然が壊されているように見えたが、たくさんの生き物が生息していて驚いた。

絶滅危惧種に指定されているクロメダカやカダヤシがたくさんいて、生命力の強さに圧倒された。ただ、もっと自慢できる浮島ヶ原にするために「みんなでゴミ拾いをしよう」ということになった。



古タイヤとゴミの山



大量のクロメダカ



タモにかかったカダヤシ

## 帰化植物調査

## 「愛鷹アースレンジャー」

調査場所：吉永北公民館東側 約5アール

第1回 活動日/平成10年6月6日 参加者：子供30人

$$\text{帰化率調べ} \frac{\text{帰化植物の種類数}}{\text{全植物の種類数}} = \frac{14}{46} \times 100 = 30.4\%$$

第2回 活動日/平成13年5月20日 参加者：子供50人

$$\text{帰化率調べ} \frac{\text{帰化植物の種類数}}{\text{全植物の種類数}} = \frac{22}{29} \times 100 = 27.8\%$$

吉永北地区は、富士市の北に位置する富士山麓だが、広い道路ができて車の往来が激しくなってきた。はっきりとは言えないが、本来の日本の自然が少しずつ失われてきているといえる。一番の成果は、子供たちが身近な自然に興味をもってくれたことであった。また、地域の自然を守っていこうとする心が育った活動でもあった。



サポーターに花の名前を聞く



花の名前を手作り図鑑で調べる

## &lt;感想&gt;

「自然の生態調査」という形で行ってきた支援活動の中で感じることは、子供たちは本当に自然の生き物が好きだ、ということだった。参加することが自然に目を向ける大きなきっかけとなり、活動をすることで自然を愛する心が大きく育っているように感じられる。そのことが「心から自分たちの住んでいる地域の自然を大切にしていきたい」との思いにつながっていると思う。これからも多くの子供たちの参加を期待したい。



誰でも参加できる  
森づくり  
活動



豊かな森林を未来のために守り、育てていきたい！  
そんな想いを込めて今年も各団体を中心にさまざまな「森づくり活動」が始まります。広葉樹植林による富士山地域きの自然植生の回復、人工林の継続的な維持・管理、針広混交林の造成など、生物の息吹をよみがえらせ、豊かな水の誕生の源を守りために、みなさんもご参加ください。

## ふじさんネットワーク公募活動予定

### 富士山緑の募金の森 広葉樹の植栽

概要：植樹作業

日時：4月14日(日)・4月28日(日)

場所：富士宮市粟倉 人数：何人でも

参加費：無料

主催/問い合わせ先：富士山自然の森づくりの会(事務局)

〒418-0035 富士宮市星山85-186(仁藤)

TEL・FAX 0544-24-9348

### どんぐりの森づくり...自分の木の植樹作業

概要：どんぐりの植え付け作業

日程：4月20日(土)

場所：御殿場市駒門 人数：30人

参加：入会できる方

主催/問い合わせ：NPO法人 土に還る木・森づくりの会

〒412-0043 御殿場市新橋160-1(関田)

TEL.0550-84-5500 FAX.0550-84-5400

### 「ニッセイ富士の森100万本達成記念植樹祭」

概要：記念植樹、他

日程：4月20日(土)

場所：富士市大淵 人数：200人 参加費：無料

主催：日本生命保険相互会社

問い合わせ：(財)ニッセイ緑の財団

〒100-0006 千代田区有楽町1丁目1-1

TEL.03-3501-9203 FAX.03-3501-5713

定員になり次第締め切らせていただきます。

### 富士の麓の森づくり

概要：植樹作業と自然観察会

日時：4月21日(日) 10時~16時

場所：富士市大淵 人数：30人

参加費：無料

問い合わせ：NPO法人 ふじ環境倶楽部

〒417-0815 富士市増川19-1(太田)

TEL.0545-38-0088 FAX.0545-39-0057

### 富士山麓ブナ林創造事業

概要：ブナの苗木植樹作業(風倒木跡地)

日時：4月29日(日) 富士市役所 8:20集合

場所：富士山国有林 参加費：無料  
(静岡県富士市国有林静岡事業区196林班イ4)

主催：富士市

申込み/問い合わせ：富士市みどりの課TEL.0545-55-2793

### 富士山の森づくりみどりを育てる心づくり春の植樹活動

概要：3日 植樹準備と前夜祭

4・5日 バッコヤナギの植樹と自然観察

6日 バッコヤナギの枝取りと挿し木

日時：5月3日(金)~6日(月)

場所：富士山御殿場新5合目 人数：何人でも

参加費：無料

主催/問い合わせ：富士山ナショナルトラスト事務局

〒412-0047 御殿場市神場646

TEL.0550-89-2530 FAX.0550-89-2516

### 東富士湧水涵養の森づくり活動(植樹)

概要：水源地への植樹作業

日時：5月12日(日)

場所：裾野市須山 公募人数：30人 参加費：無料

主催/問い合わせ：柿田川・東富士の地下水を守る連絡会

〒417-0907 駿東郡清水町伏見766(漆畑)

TEL.055-975-5454 FAX.055-976-6996

### 富士山麓湿地保全活動

概要/水源地への植樹作業

日時：5月12日(日)

場所：富士宮市田貫湖畔 人数：何人でも

参加費：無料

主催/問い合わせ：富士宮自然観察の会

〒418-0035 富士宮市星山85-186(仁藤)

TEL&FAX.0544-24-9348

### 第17回 富士山「まなびの森」植林ボランティア

概要：広葉樹の植樹作業

日時：5月12日(日)

場所：富士宮市粟倉 人数：50人 参加費：無料

主催/問い合わせ：住友林業(株)山林・環境本部

〒160-8360

新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタウンビル

TEL.03-5322-6674 FAX.03-5322-6774



## ー (仮称)富士山ボランティア・レンジャーの活動に向けて研修中ー

ふじさんネットワーク会員を中心に、25団体78人が参加し、3月16日(土)・17日(日)「富士山ボランティア・レンジャー講習会」が開催されました。自然環境の保全活動を行うボランティアとして、富士山の自然・文化・法律(自然公園法、森林法・国有林野法)などを学び、5月の連休には実際に来訪者に対しての実習を行う予定です。



### 講習内容

- ・富士山の法律「自然公園法」  
講師：環境省南関東地区自然保護事務所  
保全調整専門官 山本 道裕氏
- ・富士山の文化「富士登山の歴史、信仰」  
講師：富士山本宮浅間大社 宮司 渡邊 新氏
- ・富士山の自然「富士山の成立ちと湧水」  
講師：静岡大学名誉教授 土 隆 一氏
- ・富士山の法律「森林法・国有林野法」  
講師：林野庁関東森林管理局東京分局  
国有林野管理課  
課長補佐 福島 英次氏

### 参加団体

富士山須山登山歩道保存会・富士急行株式会社・富士山「まなびの森」実行委員会・沼津市民協議会・東京電力株式会社沼津支店・富士宮市商工観光課・葵エコサポーター・日本ランド遊園株式会社・裾野野鳥を守る会・富士自然観察の会・富士山御殿場口山内組合・富士山表富士宮口登山組合・小山秀峰山岳会・静岡県ワンダーフォーゲル会・静岡地理教育研究会・富士山と自然に親しむ会・富士宮自然観察の会・富士山自然の森づくりの会・小山町観光協会・静岡環境サポーターズふじ・日本野鳥の会南富士支部・富士山本宮浅間大社・富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会・MT.FUJI CLUB・富士山自然史研究会

### 概要

#### <活動内容>

- 登山者へのマナー等適正利用者指導
- 安全な登山に対する指導
  - ・服装・装備、計画、歩き方
- トイレの使用マナー
- 清掃活動
  - ・ゴミの持ち帰りや投げ捨ての指導
  - ・自主的清掃活動
- 車両の乗り入れの指導
- 自然保護
  - ・貴重な動植物の保護保全
  - ・動植物の不法な採取等の指導
  - ・ペットの持ち込みの指導
- 自然解説
  - ・自然観察等指導



ふじさんネットワーク会長  
静岡大学名誉教授  
土 隆一さん

「富士山の成り立ちと湧水」を講演



林野庁関東森林管理局東京分局  
国有林管理課 課長補佐  
福島 栄次さん  
「森林法・国有林野法」を講演

### 富士山の素晴らしさを伝えていくことが大切。

富士山を訪れる人達は、自然を求めてやってきます。その人達に自然の宝庫である富士山の良さを伝えていくことが、ボランティアレンジャーの大切な役割だと思います。それによって自ずと自然保護の必要性を感じて、こうした意識が広がっていくのではないのでしょうか。ですから、ボランティア・レンジャーの皆さんには、富士山に関わるいろいろな分野の正しい知識を身につけて、誇りをもって活動してほしいですね。

具体的にどのように活動を進めていくかはこれからです。各団体の共通のテーマとして交流をもちながら、ボランティア・レンジャーの自主的な活動として柔軟に考えられる分野を広げていきたいと思っています。



# ネットワーク Topics



須走口山頂 / 平成13年度自己完結型実験トイレ

## どうなる

### 富士山トイレ

登山者層の多様化とともに重要な課題となっているトイレ整備。国内の山岳の中でも最も厳しいといえる条件の富士山では、平成10年から実証実験や調査結果に研究が重ねられてきました。

当初はさまざまな新しい技術もその機能を充分発揮できず、困難な研究となりましたが、改善を重ねるとともに管理面などを工夫することにより、実用可能な処理方法が存在するという成果は収めました。

反面、高度な処理施設はかえって維持管理が厄介になることから、富士山においては、シンプル・イズ・ベストという考えが求められ、利用面でのソフト対策（トイレ使用のマナーの向上策）を並行して進めなければ、解決はできないことも確認しました。

美しい富士山を未来へ伝える取り組みとして、これまでの成果を踏まえ、行政、利用者、事業者、市民団体などが一体となって具体的に実行する時期を迎えています。

### 富士山トイレ整備事業のこれから...

#### トイレの数

現在、富士山には公衆トイレは4ヶ所（富士宮口五合目・山頂、須走口五合目、御殿場口五合目）に限られ、25軒ある山小屋のトイレがこれを補う形になっています。今後、新たに建物を増加させて景観を損なうよりも、現状のまま山小屋トイレが公衆トイレの役割を担うのが最善であると考えられます。

こうしたことから、富士山のし尿処理の改善のためには、山小屋トイレの改善を行う必要があります。

#### 処理方法

稼働時に処理水等を外部へ排出しない「自己完結型」のトイレが富士山にふさわしいと考えられていますが、処理能力に限りがあることから、当面は、この能力を汲み取り式トイレ等が補充するという2つの方式を組み合わせる形で当面は施設の改善が進められます。

#### 管理体制

トイレは日々の清掃管理によって適切な利用、処理が可能となります。そこで、日々の管理が可能であり、現実的にも公衆トイレを含めてトイレを管理している山小屋が管理の主体を担うことが最適だといえます。

しかし、技術的管理や利用者意識の改善など、山小屋だけの取り組みでは解決が困難な課題もあることから、多方面からの積極的な支援が不可欠になります。

#### 利用マナーの向上

##### 1. ゴミ投入の防止

便槽へのゴミ投入は非常に多く、投棄されるゴミの種類も多様で、し尿処理に支障が生じています。ゴミの持ち帰りやトイレットペーパー使用の徹底などを図る必要があります。

##### 2. 利用者負担

適正な管理を図るための管理者の配置やし尿処理等には、経費がかかります。これに充てる協力金（チップ）の制度が検討されています。協力金を投入しやすい方法や投入機器の検討も行われます。

##### 3. し尿持ち帰りへの理解

将来的には、し尿の処理ではなく、利用者の持ち帰り処理が最も望ましい方法の一つと考えられることから、持ち帰りのための課題解決と並行して、利用者の意識啓発に向けた取り組みも推進されます。



須走口 / 平成12年度自己完結型実験トイレ

## ふじさん 子どもネットワーク

[www.fujisan-net.gr.jp/kids](http://www.fujisan-net.gr.jp/kids)

### Q&A

Q 僕は、小学4年生の坪田俊成です。富士山のとっぺんには、何がありますか。ふもととちがう空気や気温などふもととちがうところはありますか。ぜひおしえてください。

（富山県砺波市）

2002.1.29

富士山博士  
のこたえ

A



富士山のとっぺん（山頂）には、直径約800m、周囲約3,500m、深さ200余mの火口があります。

その火口の回りは「お鉢」と呼ばれ、南西側に日本一高い地点である標高3,776mの「剣が峰」があります。そこから東回りに、三島岳、成就岳、伊豆岳、大日岳、久須志、白山岳 という頂きがあります。一周約3 km、70分くらいで回れると思いますので（お鉢めぐりと呼ばれています）、坪田君がこれから富士山に登る機会があったら、挑戦してみてください。

山頂の施設は、測候所、NTT、郵便局、環境省休憩舎、神社が2つ、山小屋が4つ、トイレが2つあります。

富士山頂の月平均気温は、夏の一時期を除いて、ほとんどが氷点下で、年間平均気温は - 7.1度です。

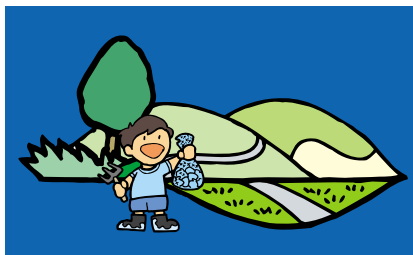
平地の三島と富士山頂では、年間を通じて気温差が平均22度もあります。

山頂の気圧は、平地の3分の2程度で、空気が薄く「高山病」になる人もいます。

詳しくは、ふじさんネットワークのHPの「富士山の気象」などを見てください。また、リンク集にあるHPにもいろいろな情報が載っていますので調べてみてください。きっといろいろな発見があると思いますよ。



## みんなの 掲示板



### 会員の活動のあれこれ

#### 葵

エコ・サポーター

代表：森本 清さん  
静岡市

葵エコ・サポーターは、昨年15名で設立、県民カレッジの卒業生で構成されています。今年には3名増え、地元の里山づくりや、研修会にも積極的に参加し、できる範囲で楽しく活動しています。毎月1回、連絡会を県NPO推進室で行っています。

また、会員3名が、16・17日に行われた富士山ボランティアレンジャーの講習を受け、ハリキッテます。

#### NPO法人

#### 富士山クラブ

理事長：秋山 英俊さん  
三島市

富士山クラブ「富士山トイレ情報」昨年山頂に設置した富士山トイレは、ただ今、越冬中。朗報としては、吉田口5合目の佐藤小屋さんのスグチップトイレ恒久設置の承諾をいただきましたので、そのサポートを含め、事務手続きを進めています。

また、昨年の課題でもあった水不足は今年もありそうなので「水運びボランティア」を募集する予定です。

#### NPO法人

#### ふじ環境 倶楽部

代表：小池 智明さん  
富士市

富士山南麓の森林づくりに取り組み始めて早4年。毎年できることは下草刈り、間伐、制水工づくりと、専門の指導者のもと限られているものの、そのメンバーは少しずつですが、広がりつつあることを実感しています。2月9日の民有林での間伐、制水工づくり、林内整備では、静大の学生さんたちや、地元の川の水質調査を熱心にやっている方など新しいメンバーも加わりました。今年は少しずつですが、国有林をお借りして活動をしていきます。スタートとして4月21日(日)に植樹と自然観察会を行います。

#### 沼津 市民協議会

幹事代表：高田 和則さん  
沼津市

沼津市民協議会は、柿田川・東富士の地下水を守る連絡会の一団体として、森づくりに参加し、毎年1haに植栽を行い、5ヶ年で5haを目標にしています。毎年、多くの会員が参加し、さらに輪が広がっていくことを願っています。また、多方面から環境を捉え、積極的に活動を進めたいと思っています。

#### グローバル 文化交流協会

会長：水野 幾子さん  
三島市

グローバル文化交流協会は、国際文化交流を目的とする会で、環境問題をメインに取り組んでいる会ではありません。

しかし、環境問題は現在大変深刻な問題です。その一番のベイスは、やはり個人の意識だと思います。今、私たちにできることは、ほんの小さなことですが、常に環境のことを考

え、日常生活の中で改善できることを実行することだと思います。そこで、数年前思いついたのが、環境カルタでした。日常生活の中でできる些細なことを語呂のいい言葉にし、カルタにすれば、遊びながら学べるのではないかと思ったのです。ついでに英語も学べるようにと思い、英語表記も加え、「バイリンガル環境かるた」を、すべて会員の手作りで作成しました。全国で大変好評を得て、すでに3,000セット以上は出ています。主に小中学校で使われています。



一方、この会では休耕田を借りて、グローバルガーデンという花壇づくりをしています。この作業にも近くの幼稚園や小学生に参加してもらい、作業を通して自然観察をしたり、環境の大切さを学んでもらうようにしています。



富士山の環境改善を目的とした会はたくさんありますが、個々に活動するより皆が力を合わせたほうが、より効率が良いと思います。行政側がその音頭取りをするということでしょうか？

もちろん行政主導ではなく、民官協働ということになりますが... 一本の矢より三本の矢のほうが強いのです。



## 「富士山ギャラリー」へようこそ!



富士山の森を歩いていると、  
樹齢が推定で200年から300年は  
あろうかと思われる古木に出会うことが  
しばしばあります。  
これほどの木になると、  
その姿は独特の枝張りやコブの付き方から  
あたかも魂を持った  
生き物の風貌のように  
見えてくるのです。  
季節が移り日差しが変わることで  
表情の変化するこれらの個性的な  
木々たちを巡る道なき道が、  
私の自然遊歩道です。

撮影：影山 秀雄さん 富士宮市在住

## 事務局通信

### 会員活動傷害保険について

ふじさんネットワークでは、平成13年度より会員の活動を支援するため、会員が主催する森づくり、清掃、自然観察等、富士山の環境保全活動を対象に保険料をネットワークで負担し、一括して保険（行政協力団体傷害保険）に加入しています。

平成14年度は、1人当たりの保険料を10円から30円に増額し、内容を充実していきますのでお知らせいたします。なお、問い合わせ等は、ふじさんネットワーク事務局までご連絡ください。

### 環境教育部会

#### 事務局（富士山ナショナル・トラスト）から

富士山をテーマにした効果的な環境教育を実施するため、学校教育機関のニーズの把握や、自然保護団体、企業、行政等の環境教育の実績及び対応可能な場や機会の提供を把握する調査を行いました。3月23日に行いましたアンケートの報告の結果、まず、講師派遣やフィールドの提供、教材等の情報をデータベース化し、必要とする学校等に情報提供する仕組みを検討することになりました。当日、参加できなかった方もご意見等ございましたら、ご連絡ください。

連絡先 / 〒412-0047 御殿場市神場646

(財)富士社会教育センター内 担当：花田

TEL.0550-89-2530 FAX.0550-89-2516

### 森づくり部会

#### 事務局（富士山自然の森づくりの会）から

ふじさんネットワークでチェーンソー（2台）購入しました。使用希望の方は、事務局までご連絡ください。

連絡先 / 〒418-0035 富士宮市星山85-186 担当：仁藤

TEL&FAX.0544-24-9348

### 情報部会

#### 事務局（NPO法人 ふじ環境倶楽部）から

3月23日の情報部会会合の意見として、会員の各市町村（伊東市、小山町、御殿場市、裾野市、富士市、富士宮市）の積極的な情報提供をいただくために事前に割り当てをすることもよいのではということで、投げかけをしてみることにしました。また、情報誌へのご意見・ご感想等お気軽にご連絡ください。  
<主な配布箇所> 県内各市町村、公民館、図書館、学校など公共機関、森づくり活動に参加された方々に配布しています。

#### 【富士山の写真を募集中!】

あなたのお気に入りの富士山の写真がありましたら、撮影場所、撮影時期、エピソードなどご記入の上、お送りください。

「ふじさんネットワーク」事務局：連絡先

静岡県環境部環境政策室 富士山浜名湖スタッフ

〒420-8601 静岡県静岡市追手町9番6号

TEL.054-221-3776 FAX.054-221-2940

e-mail 3776@fujisan-net.gr.jp

#### 編集・発行

「ふじさんネットワーク」情報部会

事務局：特定非営利活動法人 ふじ環境倶楽部

〒417-0815 静岡県富士市増川19-1(太田)

TEL.0545-38-0088 FAX.0545-39-0057

e-mail adism@lilac.ocn.ne.jp